

日能研	6年						
	算数						
学習内容	7月の学習内容 37 体積・表面積と比 38 水位変化と比 夏期講習 平面図形 割合と文章題 数の性質 規則性 立体図形 速さ 場合の数						
家庭学習ポイント	第37回、38回は立体図形についての学習になります。37回のテーマは「体積と表面積/比の利用」となります。体液や表面積を求める問題はもちろん、体積比についての問題も詳細まで扱います。柱体すい対の体積、表面積から始まり、立方体の切断と体積比、表面積についてまで、入試頻出のテーマばかりですので、完全習得を目指しましょう。38回は「水位変化を求める/比の利用」がテーマです。水槽の水位の問題も頻出事項であり、また比の利用によって効率良く解くことが大きなポイントとなる分野です。水槽にものをしずめる場合 ①沈めたものと水を一体として扱う ②物体が沈むことで「水槽の底面積が小さくなった」と考える の2つの視点が必要で、その使い分けは「物体が完全に水没しているか」でよいでしょう。夏期講習はこれまでの全分野の総復習であり、演習が中心の授業になります。総花的な演習になるため、夏休みまでに自分の弱点ポイントを把握して、1つでも補強した上で夏期講習に臨むことが大切です。						
課題の把握と解決策	チェック1	面積比、体積比を積極的に使って問題に取り組んでいますか？					チェック
	解決策	比を上手に使えば使うほど問題を正確に、早く、楽に解くことができます					□
	チェック2	すい対を高さの半分のところで底面に平行に切断すると、体積はどのように分かれる？					チェック
	解決策	高さで「上半分」は1×1×1、全体は2×2×2なので「下半分」は8-1=7となりますね					□
	チェック3	水槽の問題を考える際は、つねに正面から見た図を書いて考えていますか？					チェック
	解決策	水槽の問題を考える際の「鉄則」ですね					□
	チェック4	水槽に沈めたものを「水と一体」と考えるのはどんなとき？					チェック
	解決策	沈めた物体が完全に水没している場合ですね					□
	チェック5	夏休みまでに自分の「弱点ポイント」をリストアップしていますか？					チェック
	解決策	夏期講習の1回の授業で扱う内容は膨大です。あらかじめ準備して臨みましょう					□
日能研	6年						
	国語						
学習内容	7月の学習内容 37 主題へつながる暗示・象徴 38 文章の展開や表現の特徴 夏期講習 解法技術からのアプローチ・文章形式からのアプローチ・語句 など						
家庭学習ポイント	第37回、38回では物語文の読解に集中します。暗示や象徴といった、作者の表現上の工夫を理解し、解答に落とし込んでいく訓練が続きます。38回では本文の続きを創作するといった課題も扱われます。合格に確実に近づくために、夏休みまでに記述問題に対してある程度の自信を身につけておきたいところです。物語文であれば、目指すところは、作者の表現上の工夫を意識して読み取りながら、物語の骨子を理解し、場面ごとの人物の心情をふさわしい言葉で表現していくことです。それと同時に、「説明記述」や「心情記述」といった設問の種類を意識し、問いに応じた解答の「型」を身につけていくことができればいいですね。知識分野～語句・知識では敬語と文学史を学びます。37回で扱われる敬語は、この回で完全に身につけてしまう心構えで臨みましょう。一般常識といった部分も含め、入試対策としてだけではなく、中学以降の生活にも役立ちます。						
課題の把握と解決策	チェック1	物語文は「場面の変化＝登場人物の心情の変化」をとらえていますか？					チェック
	解決策	物語文においては定番の表現技法です					□
	チェック2	登場人物の言動や情景描写から心情を読み取ることができていますか？					チェック
	解決策	物語文の読解の最大のポイントは「心情」を読み取ることにあります					□
	チェック3	語句の学習をコツコツと続けていますか？					チェック
	解決策	朝学習などで少しずつでも積み上げていきましょう。					□
	チェック4	テストの記述問題が、ついつい空白になっていませんか？					チェック
	解決策	まず「書く」という一歩を踏み出すことが大切です					□
	チェック5	夏までに知識分野の「ひとまずの完成」を目指していますか？					チェック
	解決策	ある程度「夏までに完成させる」という意識で取り組むことが大切です					□

日能研	6年							
	理科							
学習内容	7月の学習内容 37 力とつり合い② 38 力と運動 夏期講習 水溶液／気体／中和／燃焼／力学／熱／音／光／電流／地層／星／月／太陽／気象／動物／植物／人体							
家庭学習ポイント	37回は「かっ車と輪軸・力の組み合わせ」、38回は「浮力・物体の運動」と、力学分野の応用問題を中心に扱います。力学单元でも「組み合わせ」は釣り合いの点で「左右」だけでなく「上下」を強く意識することが大切です。特に「かっ車と輪軸」」では上記の「上下のつり合い」を意識することが大切です。38回では浮力を扱います。「アルキメデスの原理」が基本的な考え方となりますが、難しい言葉よりも「押しのけた分だけ押し返される」ということをしっかり意識することが大切です。「水を押しのけている」ということは「水中につかっている」ということで「水中部分の体積」に注目することで浮力がわかるということにありますが、一足飛びに「水中部分の体積の単位を変えれば浮力になる」と飛びつくのではなく、つねに「この部分の水が押しのけられている」と考えながら解き進めることが重要です。夏期講習は他教科同様、これまでのすべての単元の応用学習、演習となります。夏期講習開始までに自分の弱点を1つでも多く把握し、潰しておくことが大切です。							
課題の把握と解決策	チェック1	かっ車のつり合いにおいて「上下のつり合い」を意識できていますか？						チェック
	解決策	「左右」だけに気を取られないよう意識しましょう						□
	チェック2	組み合わせかっ車の問題を正確に解けていますか？						チェック
	解決策	「かっ車の左右にかかる力の大きさは等しい」ということをつねに意識しましょう						□
	チェック3	「アルキメデスの原理」が「腑に落ちて」いますか？						チェック
	解決策	言葉を暗記するのではなく「押しのけたら押し返される」を実感することが大切です						□
	チェック4	夏期講習の日程、カリキュラムを把握していますか？						チェック
	解決策	「忙殺」されがちになることを見越して準備しておきましょう						□
	チェック5	夏休みまでにやるべきポイントをリストアップしていますか？						チェック
	解決策	夏期講習の1回の授業で扱う内容は膨大です。あらかじめ準備して臨みましょう						□
日能研	6年							
	社会							
学習内容	7月の学習内容 37 財政と地方自治 38 国際の平和と安全をめざして 夏期講習 国土／農水産業／工業／資源／貿易／交通／世界地理／世界の気候／主要各国／古代／中世／近世／近現代／憲法／三権分立／地方自治 日本と世界（国連など）							
家庭学習ポイント	37回は「財政と地方自治」、38回は「国際の平和をめざして」と進み、公民分野の学習を終えます。わずか1か月ほどで学習し切るには、あまりにも多い内容、子どもたちにとって「とっつきにくい」テーマということもあり「よくわからない」状態で終えてしまうお子さんも多くいるでしょう。夏期講習の学習内容にも公民分野は含まれますが、この1ヶ月で「公民分野が今ひとつピンときていない」と感じているなら、夏休みまでもう一度内容をトレースして理解、整理しておく必要があります。夏期講習の学習内容は、これまでのすべての総復習と演習になります。演習が中心の授業であり、これまでのような「教えてもらって学ぶ」ではなく「解くことで自分に不足していることに気づき、補強する」という授業ですので、知識部分で「穴」が多い状態で臨むと、「解けない」ことを繰り返すことになりがちです。他教科同様、夏期講習開始までに基本的な知識の整理が必要です。							
課題の把握と解決策	チェック1	国際連合とその関連機関について理解していますか？						チェック
	解決策	国連そのもののはたらき（6つの機関）だけでなく関連期間についても知識をつけておきましょう						□
	チェック2	公民分野が「今一つピンときていない」状態になっていませんか？						チェック
	解決策	夏期講習開始までに内容をもう一度トレースしてみましょう						□
	チェック3	知識があやふやな状態で小6の夏を迎えようとしていませんか？						チェック
	解決策	夏期講習の「演習授業」を活かすには、ある程度の知識の充実が必須です						□
	チェック4	地理分野の知識があやふやになっていませんか？						チェック
	解決策	数ヶ月、地理に接していないので、忘れてしまった事柄が増えないようにアップデートしましょう						□
	チェック5	夏休みまでにやるべきポイントをリストアップしていますか？						チェック
	解決策	これまでの公開模試などを確認し「夏までのテコ入れポイント」を把握しましょう						□